

洗浄・消毒・滅菌方法

術中/使用後の洗浄

蒸気クリーニング

- ① 生理食塩水を含ませたガーゼを折りたたみ電極を軽くはさみます。このとき、指で押さえつけないでください。
- ② ご使用中のモード及び出力設定のままで、湿ガーゼで挟んだ電極に約1～2秒通電し、これを2～3回繰り返します。
- ③ 蒸気クリーニングでは、電極に負担をかけずに、付着した組織をきれいに取り除くことができます。

注意点

- ・ 電極に付着した組織は炭化の原因になり、そのままにしておくと取り除くことが難しくなります。炭化した部分は絶縁となり、炭化していない電極部分に過剰な電流が流れるため、金属の劣化が早まり、破損につながります。蒸気クリーニングを行うことで、切れ味、通電効率を高めることができます。
- ・ 蒸気クリーニングは、RFナイフの特性を持つ製品で可能な方法です。他の電気メスでは、安全の確認ができないので行わないでください。
- ・ 通電時は手袋を着用し、熱傷にご注意ください。

超音波洗浄

- ① 使用後は電極の蒸気クリーニングを行います。このとき、ブラシや研磨具で電極をこすらないでください。
- ② 付着した血液や組織を除去するには、過酸化水素水または超音波洗浄器に電極を入れて3～5分間洗浄してください。

注意点

- ・ やすり等でゴシゴシと洗うと、無数の目に見えない小さな傷が電極先にでき、超音波洗浄によって傷や割れが広がる恐れがあります。
- ・ また、ご使用時に炭化組織が付着しやすくなり、通電性を著しく低下する原因になります。
- ・ 蒸気クリーニングや、超音波洗浄器などで付着した組織を落としてから滅菌してください。
- ・ 絶縁コーティングされた電極は、絶縁がはがれることがあるので超音波洗浄しないでください。

消毒

薬液消毒

- ① 金属製の器具に接触しないように、電極・アクセサリーをプラスチック容器に慎重に入れてください。
- ② 薬液は、製造元の指定する希釈液にしてください。
- ③ 消毒は、製造元の推奨時間または最大で45分です。それ以上は行わないでください。
- ④ 薬液から取り出した後、無菌水で完全に洗い流してください。
- ⑤ 乾燥を十分に行ってください。熱乾燥は製品の劣化の原因となりますので、行わないでください。
- ⑥ 消毒では完全な滅菌効果は保証されませんので、消毒後は必ずオートクレープ滅菌またはガス滅菌を行ってください。

注意点

- ・ 消毒液を使用して電極を消毒する場合、45分以内のつけ込みであれば問題ありませんが、アルコール成分（引火性のもの）が入っていないこと、また強い酸性の洗浄液、アルカリ性溶液ではないことをお確かめください。
- ・ 滅菌が可能な滅菌液（例：2%グルタルアルデヒド）の使用については製造元の定める使用方法を確認してください。
- ・ 強い酸性、アルカリ性溶液は使用しないでください。
- ・ 電極やコード類を薬液につけ込んで行う消毒および滅菌は、ワイヤー状の電極やシャフト軸、コード類の破損、劣化につながります。
- ・ ハンドピースなど電極軸を挿入する部分から薬液が浸透すると、破損や断線等の原因となります。

滅菌

オートクレープ滅菌

- ① 滅菌は十分に洗浄し、乾燥させてから行ってください。
- ② 電極・コードは必ず滅菌バッグに入れてください。
- ③ 電極を滅菌バッグに入れる際には、電極が互いに重ならないように並べて入れてください。
電極やアクセサリーの金属部が互いに重なると蓄熱し、シャフト軸やコードのコーティング部が変形または破損する原因になります。
- ④ コード類はガーゼで包むか板のようなものにゆるく巻き付けて滅菌してください。
- ⑤ その他の金属製手術器具が接触しないようにしてください。
- ⑥ 電極やアクセサリーを入れた滅菌バッグは、その他の手術器具を入れたバッグの一番上に置いてください。
- ⑦ 滅菌条件は「医療現場における滅菌保証のガイドライン2015」に従い、121℃15分以上の設定で行ってください。それ以下の数値で行うと滅菌効果は保証されません。

注意点

- ・ 滅菌の際は、その他の金属器具等と別の滅菌バッグに入れてください。金属部に接触した部分は蓄熱のために破損や変形の原因になります。
- ・ 温度設定が高い場合、製品の消耗や劣化を早める恐れがあります。
- ・ 電極をハンドピースに差し込んだまま滅菌しないでください。電極が抜けなくなることがあります。また、差込部の金具が破損する原因になります。
- ・ ハンドピースは差し込み部のキャップを緩めて滅菌してください。
- ・ バイポーラ・フォーセップをコードに接続したまま滅菌すると、コネクタやコードの差し込み部が破損する原因になります。
- ・ 電極・アクセサリー等に付着した組織や凝血は除去してから滅菌してください。（参照：蒸気クリーニング）
- ・ 対極板、フットスイッチ等は滅菌しないでください。
- ・ ガス滅菌に関しては、ご使用の機器の取扱説明書に沿って滅菌してください。
- ・ プラズマ滅菌については、現段階では、製品の品質を保証することはできません。

保管方法

高温多湿な場所での保管はお避けください。直射日光にさらさないでください。水のかからない場所に保管してください。

重要

電極、アクセサリー、ケーブル類は消耗品です。電極は定期的に点検されるようお勧めします。折れや変形、絶縁部のまくれ、破れ、ひび、傷等がある場合には、新しい電極に取り替えてください。